



電子機械設計・製作II

後期17回 システム統合3

MIRS発表会実行委員会

牛丸 真司

青木悠祐

小谷 進

大沼 巧

香川真人

後期スケジュール



電子機械設計・製作 II (3単位:週2回6コマ)							
1	9/27	P.3	基本設計・試作	16	12/5	P.6	単体・機能試験報告書UP システム統合
2	9/30			17	12/9		
3	10/3			18	12/12		
4	10/6			19	12/19	P.7	システム統合レビュー システム試験・改良
5	10/14			20	12/23		
6	10/17	21	1/6				
7	10/21	22	1/13				
8	10/24	P.4	詳細設計・試作	23	1/16	P.8	システム試験報告書UP 社会実装実験
9	11/4			24	1/20		
10	11/7			25	1/23		
11	11/11	P.5	実装(パート開発) 部品製作・回路製作 ・プログラミング	26	1/27		発表会準備
12	11/14			27	1/28		MIRS発表会
13	11/18			28	1/30	P.9	開発完了報告
14	11/21			29	2/6		
15	12/2			30	2/10		

MIRS発表会実行委員

再掲



担当	内容	備考
演出 (5)	発表会全体の演出 (スケジュール、進行手順など)	司会も担当する
機材 (5)	機材借用 (音響設備、電源ケーブル等) 機材運用 (照明・プロジェクタ・録画)	チームプレゼン中の 照明等の運用はチー ムで行ってもよい
設営 (10)	会場・展示ブース設営	各チーム2名
広報 (5)	受付・案内表示・誘導・アンケート・投 票の準備と実施、1・2年生への宣伝	

- () 内の数字は必要人数を示す
- 各チームで1名 (設営のみ2名) を選出する。
- 各チームのプレゼン担当予定者以外で担当する。(演出、機材には入れないこと)
- 各担当に教員1名を配置する。
- 各チームのプレゼン時の演出・PC等運用は各チームで行う。

MIRS発表会実行委員



担当	担当者	教員
演出 (5)	杉浦、三橋、豊田、岡村、	牛丸
機材 (5)	加藤諒耶、石川、フリーマン、村岡、	香川
設営 (1 0)	石井、勝間田、富永、浅見、杉崎、 大橋、安間、眞野、	青木
広報 (5)	小柳津、小柳、増田、小谷、	大沼

- 遠隔配信担 . . . 小谷先生



システム統合レビュー（1）再掲

- 目的
 - システム統合の進捗状況を評価し、今後の開発方針（最終的にデモ機に実装する機能等）を決定する。
- 実施日
 - 2022年12月19日（月）15:00-16:30
- 実施場所
 - クリエイティブラボ（大型ディスプレイ前）



システム統合レビュー（２）

再掲

- 実施方法
 - システム統合の進捗状況を記したプレゼン資料を用意し、その説明を行う。
 - 実現した機能は、可能な限りデモ機で実演すること。
 - 準備が出来た班から実施する。（各班15分程度）
- レビュー参加者
 - チームメンバー（PM,TLは必須）
 - チームレビューワ&主担当（牛丸）

進捗報告資料 (1)

再掲



- 開発項目毎に、優先度、進捗状況を記すこと
- 開発項目（要素・機能）はシステム提案書に記載されている項目の粒度で示すこと。
- 優先度がシステム提案書から変更となる場合は、その理由を備考欄に示すこと。

優先度の定義

- A：デモ機で実現する項目
- B：製品として必須の項目（Aに加えて）
- C：製品の付加価値を高める機能

進捗報告資料 (2)

再掲



- 形式は特に問わないが、プレゼン資料として用意すること。
- 以下のような表にまとめてよい。

開発項目	優先度	進捗状況	備考

作業記録をこまめにつけること



再掲

- ✓ 01:ミーティング
- ✓ 02:ドキュメントレビュー
- ✓ 03:ドキュメント整備
- ✓ 20:技術調査
- ✓ 22:システム基本設計
- ✓ 23:システム統合試験
- ✓ 30,31,32:メカ/エレキ/ソフト詳細設計
- ✓ 60:その他

1日の作業で項目が異なる場合はそれぞれの作業時間、コードで登録すること（開発報告書の工数分析に利用する）